



プレスリリース

2014 年 10 月 3 日

特定非営利活動法人

ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(ASPIC)

『第8回 ASP・SaaS・クラウドアワード2014』 -ASP・SaaS/データセンター/ユーザ/IaaS・PaaS 各賞を発表-

特定非営利活動法人ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(略称:ASPIC、東京都品川区西五反田、会長:河合輝欣)は、総務省などのご後援により、日本国内で提供されているASP・SaaS・クラウドサービスとデータセンター及びそれらを利用するユーザ企業から優秀なものを選定し、『第8回ASP・SaaS・クラウドアワード2014』として、グランプリ及び各賞を決定し、発表・授与いたしました。

今回、多数のご応募があり、審査にあたっては各分野の有識者から構成された委員会を組織して、選定・評価し決定いたしました。

このアワードにより、ASP・SaaS・クラウド関連業界の活性化、市場創造、情報基盤の確立、中小企業の生産性向上、さらには日本経済の発展に寄与するものと考えております。

この度、総務省をはじめとする後援団体、マスコミ、審査委員等のご臨席を賜り、下記により表彰式を開催し、賞の発表及び表彰を実施いたしました。

< 記 >

1. 表彰式の開催

日時:2014年10月3日(金) 15:00～17:00

会場: 霞山会館 霞山の間

千代田区霞が関3-2 霞が関コモンゲート37階

2. 受賞企業一覧

受賞企業とサービス名 (資料 1)

3. アワード2014の概要

(1)アワードの趣旨

(2)アワード受賞企業のメリット

(3)アワードにおけるサービスの動向

4. その他

(1)審査委員一覧 (資料 2)

(2)後援団体一覧 (資料 3)

2. 受賞企業一覧

資料1-1 【受賞企業とサービス名 <ASP・SaaS部門>】

認定欄「有」はASP・SaaSサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定済

各賞名		会社名	サービス名	認定
総合グランプリ		株式会社 富士通システムズ・ウエスト	DDworks21 ASP サービス	●
分野別 グラン プリ	社会・業界特化系 グランプリ	公益社団法人日本医師会治験促進 センター	治験業務支援システム カット・ドウ・スクエア	
		株式会社パスコ	PasCAL for LGWAN	
	基幹業務系 グランプリ	株式会社ネットラーニング	Multiverse®	●
		株式会社 日立製作所	C-Taxconductor／SaaS	
	支援業務系 グランプリ	BizMobile 株式会社	BizMobile	●
		新日鉄住金ソリューションズ株式会社	CONTRACTHUB@absonne 電子契約サービス	●
ベンチャー大賞		freee 株式会社	クラウド給与計算ソフト freee	
		株式会社イー・コモード	GENESSISS	
ベストイノベーション賞		株式会社ワークスアプリケーションズ	CCMS (COMPANY on Cloud Managed Service)	
先進技術賞		ナレッジスイート株式会社	GEOCRM.com	
		株式会社Ptmind	Pt engine	
ベスト連携賞		SBI ビジネス・ソリューションズ株式会社	クラウド型経費精算システム 経費 Bank	
		アルプス システム インテグレーション 株式会社	InterSafe CATS	●
ベスト海外展開賞		株式会社ブイキューブ	V-CUBE	●
ベスト環境貢献賞		株式会社 NTT スマイルエナジー	エコめがね	
		株式会社コンストラクション・イーシー・ドット コム	統合線量管理サービス	
ニュービジネス モデル賞		株式会社コスモルート	LogiNebula	
		株式会社ユー・エス・イー	Academia Solution -生徒募集管理システム-	
委員会特別賞		日本ユニシス 株式会社	SASTIKサービス	
委員長特別賞		株式会社ショーケース・ティービー	ナビキャスト サイト・パーソナライザ	
ASPIC会長特別賞		株式会社プロット	Smooth File® クラウド	●
		AGS株式会社	与信管理サービス 「Neuro Watcher」	
		富士ゼロックス株式会社	スキャン翻訳サービス	

資料1-2 【受賞企業とセンター名 <データセンター部門>】

各賞名	会社名	データセンター名	認定
総合グランプリ	株式会社IDCフロンティア	北九州データセンター	
ベスト環境貢献賞	三菱商事株式会社	MCC三鷹ビル サウス棟	
ベスト地域貢献賞	AGS株式会社	「さいたまiDC」さいたまセンター	●
ASPIC会長特別賞	株式会社インテック	独自監視基盤による2拠点運用システム	

資料1-3 【受賞企業とサービス名 <ユーザ部門>】

各賞名	会社名	サービス名	認定
総合グランプリ	在宅療養支援 風の風グループ	在宅療養支援エンゲージメントシステム	

資料1-4 【受賞企業とサービス名 <IaaS・PaaS 部門>】

各賞名	会社名	サービス名	認定
総合グランプリ	ビッグロブ株式会社	BIGLOBEクラウドホスティング	●
準グランプリ	ビープラッツ株式会社	Bplats® (ビープラッツ)	
IaaS 分野グランプリ	株式会社日立システムズ	リソースオンデマンドサービス	
PaaS 分野グランプリ	SCSK株式会社	PrimeCloud for Developers FastAPP オプション	
ベストイノベーション賞	GMOクラウド株式会社	GMO クラウド ALTUS	
先進技術賞	株式会社インテック	EINS/SPS SelfPortal	
ベスト連携賞	株式会社 IDC フロンティア	IDCフロンティア オブジェクトストレージサービス	
委員会特別賞	株式会社HDE	HDE One	
委員長特別賞	株式会社 TOKAI コミュニケーションズ	BroadCenter Pracla ホステッド・プライベートクラウド	
ASPIC会長特別賞	株式会社 富士通システムズ・ウエスト	IT Policy N@vi	

3. アワード2014の概要

(1)アワードの趣旨

総務省や経済産業省においてはクラウドコンピューティングを中心としたICT戦略を推進しており、企業、公共団体をはじめ広範な分野に広く浸透し普及率も約20%近くに達しています。

ASPICの推計によると、ASP・SaaS・クラウドの市場規模も、2015年には約3兆円に達すると見込まれ、今後ますますの進展が期待されています。

ASPICアワードは本年で第8回目を迎え、日本国内で優秀かつ社会に有益なASP・SaaS・クラウドサービスを表彰し、事業者及びユーザの事業拡大及び業務効率化の支援を目的としています。

また、併せてASP・SaaS・クラウドサービスの利用促進と市場創造による社会情報基盤の確立を目的としています。

(2)アワード受賞企業のメリット

①メディアでの報道

受賞企業名・サービス名は新聞等の媒体に取り上げられる機会を得られます。

②セミナー等での発表

アワードを受賞したサービスは、ASPICの主催するセミナー等で発表の機会が得られます。

③受賞マークによる営業効果

賞状と盾が授与され、オフィスなどで展示することにより、企業のイメージアップが図れます。

また、アワード受賞マークの HP・パンフレット等への使用により営業活動に貢献します。

④社内へのアピール効果

受賞によりプロジェクトの社内認知度が上がり、経営層へのアピール度が高まるとともに社員のモチベーションの向上に役立ちます。

(3)アワードにおけるサービスの動向

【ASP・SaaS部門】

①分野別

各分野とも均等に伸びがみられる。大企業が保有していたERP等の業務ノウハウを小型化又は機能特化型とした廉価なクラウドサービスが業務基幹系、業務支援系で増加し、社会業界特化系はよりノウハウや専門性を高めたサービスが台頭してきている。

②企業規模

大手企業がサービスを積極的に展開し多くの実績を伴う横綱級のクラウドサービスが登場している。

一方で中小企業も独自の業務ノウハウを生かし製造業、エネルギー分野などへ市場参入を行い着実な成果をあげている。

また、ベンチャー企業による新サービスの展開もめざましく、企業の歴史や規模に関わらず新サービスが実績を上げている。

③売上高

売上高伸び率は、平均35%と着実な増加傾向にある。

④サービス間の連携

サービス間の連携が促進し約8割のサービス間で行われている。その内容も高度化・多様化している。

導入企業においては複数のサービスを複数のベンダーから提供を受け、利用する形態が増加している。

⑤海外展開

日本企業の海外進出に対応して、海外にある日本法人への展開しているサービスが増えてきたと同時に、海外企業との提携などを積極的に展開しているサービスが出現してきている。

⑥ユーザ企業のASP・SaaS・クラウド事業進出

自社の業務ノウハウを生かしたASP・SaaS・クラウドサービスをユーザ企業が自ら開発し市場へ展開する例が増えてきている。

第8回 ASP・SaaS・クラウドアワード2014

⑦先進的なサービス

今迄になかった先進的なサービスに挑戦している企業がでてきている。

⑧ベンチャー企業の進出

特化した技術や新しいビジネスモデルを掲げてベンチャー企業が果敢にチャレンジを行い成果が見えつつある。

【データセンター部門】

①安全・信頼性を考慮したデータセンター間連携

震災、BCP等の安全・信頼性を考慮したデータセンター間(自社及び他社)の連携が増えてきた。

②省エネ型データセンターへの新しい取組

環境に配慮した省エネ型のデータセンターへの新しい取組が行われている。

【ユーザ部門】

ASP・SaaS・クラウドサービス利用による効果

経営革新・業務改革、コスト効果、ステークホルダーとの関係改善、BCP等ASP・SaaSクラウドサービス利用による効果がより鮮明となった。

【IaaS・PaaS部門】

応募にはデータセンター事業者が提供するクラウド基盤サービスが多くみられ、データセンター、IaaS・PaaSを一体のサービスとして提供している事業者が増加している。

資料2【委員会メンバー】

【ASP・SaaS部門/ユーザ部門/IaaS・PaaS部門 PaaS分野選定委員】

(五十音順)

	氏名	企業名・部署名	所属役職
委員長	中島 洋	国際大学(グローコム)	教授
委員	飯田 幸弥	東京商工会議所	総務統括部付
	太田 敏澄	一般社団法人 行政情報システム研究所	理事
	木村 忠正	東京大学 大学院 総合文化研究科	教授
	杉田 悟	情報産業新聞社	副編集長
	藤本 正代	情報セキュリティ大学院大学	客員教授
	前川 徹	サイバー大学 IT総合学部	教授
	御宿 哲也	弁護士法人 御宿・長町法律事務所	弁護士
	河合 輝欣	ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム	会長

【データセンター部門/IaaS・PaaS 部門 IaaS 分野選定委員】

(五十音順)

	氏名	企業名・部署名	所属役職
委員長	阪田 史郎	千葉大学 大学院 融合科学研究科	教授
	岩本 幸男	ウイングアーク1st株式会社 データサイエンス事業推進室	チーフビジネス クリエイター
	後藤 厚宏	情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科長	教授
	柴崎 哲也	一般財団法人マルチメディア振興センター	特別研究主幹・ プロジェクト企画部長 兼務
	中村 太一	東京工科大学 コンピューターサイエンス学部	教授
	大和 敏彦	一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス	副会長
	吉本 明平	一般財団法人全国地域情報化推進協会 企画部	担当部長
	河合 輝欣	ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム	会長

資料3 【後援団体 一覧】 順不同

- ・総務省
- ・東京商工会議所
- ・地方公共団体情報システム機構(J-LIS)
- ・一般財団法人 マルチメディア振興センター(FMMC)
- ・一般財団法人 インターネット協会(Iajapan)
- ・一般財団法人 関西情報センター(KIIS)
- ・一般財団法人 全国情報化推進協会(APPLIC)
- ・一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス(CSAJC)
- ・一般財団法人 日本システム開発研究所(SR&DI)
- ・一般社団法人 千葉県商工会議所連合会
- ・一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会
- ・一般社団法人 日本ソフトウェア産業協会(NSA)
- ・一般社団法人 社会情報学会(SSI)
- ・公益社団法人 千葉県情報サービス産業協会(CHISA)
- ・公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会
- ・全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)
- ・公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団
- ・一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)
- ・駐日英国大使館 貿易・対英投資部
- ・日刊工業新聞社
- ・情報産業新聞社

=====

特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム (A S P I C)

〒141-0031

東京都品川区西五反田 7-3-1 たつみビル 2F

TEL:03-6662-6591 ・ FAX:03-6662-6347

E-mail: office@aspicjapan.org ・ URL: <http://www.aspicjapan.org>

以上